

# JESCO 豊田PCB廃棄物処理 事業だより(No.147)

## 1. 豊田PCB処理事業部会について

6月17日(金)に、平成28年度第1回「豊田PCB処理事業部会」を開催しました。これはJESCOが設置した部会で、4名の学識経験者で構成されています。

今回の部会では、現在、豊田PCB処理事業所において、処理が順調に進んでいることや、処理対象PCB廃棄物について、順調に当事業所に搬入されれば、国のPCB廃棄物処理基本計画で定める計画的処理完了期限の平成34年度末までに処理が完了する見通しであることも報告しました。



## 2. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況のご報告

平成28年4月から6月までの処理実績は右表のとおりです。  
引き続き、安全かつ確実に処理を継続してまいります。

平成28年4～6月の処理台数

種 別		処理台数
コンデンサ類		1,967 台
ト ラ ン ス 類	大 型	8 台
	小 型	4 台
	車 載 型	16 台
廃PCB等		27 本
保管容器		133 個

### 3. 施設見学について

#### 平成28年度第1四半期の施設見学者数

	4月	5月	6月	計
団体数	7団体	3団体	5団体	15団体
見学者数	60名	19名	12名	91名

第1四半期も保管事業者の皆様をはじめ、行政の方々や各団体など、多くの方々に当施設をご見学いただき、施設見学を通じてPCB廃棄物の処理状況等について理解を深めていただきました。

施設見学をご希望の方は下記の【豊田PCB処理事業HP】をご参照のうえ、0565-25-3110までお問い合わせください。

### PCB処理事業紹介シリーズ 第23回

今回は、ポリプロピレン(以下「PP」という。)コンデンサ(※1)の処理についてご説明します。

PPコンデンサをJESCO大阪PCB処理事業所の処理設備(真空加熱分離装置)で処理した場合、PCBが蒸発する前にPPが膨張し、装置内でコンデンサが写真(右)のとおり破裂するため、著しく処理効率が低下することが操業開始後に判明しました。



(紙を絶縁紙に使用したコンデンサの処理後)



(ポリプロピレンを使用したコンデンサの炉内破裂した際の状況)

平成26年6月に国の「PCB廃棄物処理基本計画」が見直され、PCB廃棄物の処理促進を図るため、大阪PCB処理事業所とはコンデンサの処理方法が異なる豊田PCB処理事業所で大阪PCB処理事業所の対象区域のPPコンデンサの一部を処理することとなりました。平成28年1月から受入を開始し、5月末までに約1,263台のPPコンデンサを受入れました。

※1 技術改良により内部素子にポリプロピレンを使用し、コンパクト化、低ロス化を図ったコンデンサのこと



デジ丸

問い合わせ先

アザランのピーちゃん



中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO)  
豊田PCB処理事業所 電話:0565-25-3110 FAX:0565-24-0543  
【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>